

公共図書館とともに歩んだ城西大学水田記念図書館10年の軌跡

小川佳菜子

城西大学および水田記念図書館の概要

本学は、1965年4月「学問による人間形成」を建学の精神として、通商産業大臣・大蔵大臣を歴任した水田三喜男（1905-1976年）によって創立されました。開学当初は経済学部、理学部の2学部構成で始まり、現在は左記に加え、現代政策学部、経営学部、薬学部、大学院（経済学研究科、経営学研究科、理学研究科、薬学研究科）、別科、および城西短期大学を擁する総合大学となりました。

図書館は、図書室からスタートし、1978年に現在の水田記念図書館棟が竣工しました。地上9階建、閲覧席808席、積層書庫5層を有する、大学のシンボリックな存在として親しまれています。先月には7・8階に新しいラーニングコモンズがオープンし、ますます活用の幅が広がっています。

蔵書は学部に沿った構成で、図書約47万冊、雑誌約4,700タイトル、電子ブック約8万7000タイトル、電子ジャーナル約3万3000タイトルを提供しています。また2010年より城西大学機関リポジトリ「JURA」を立ち上げ、本学の紀要類、教育・研究成果、および学内広報資料などを公開しています。

地域貢献にも力を入れ、一般の方（15歳以上）にも利用開放し、ライブラリーカード（LC）会員（18歳以上の社会人を対象）には資料貸出も行っています。今回は、この地域貢献の活動についてその歴史から現在に至るまでを紹介します。

地域連携のはじまり

遡ること約10年前の2007年1月19日、埼玉県図書館協会平成18年度図書館ネットワーク研修会において、埼玉県内公共図書館と埼玉県内大学図書

館間の相互協力要領について図書館ネットワーク専門委員会の試案が示されました。これを受けて、本学でも地域の公共図書館とネットワークを構築し、図書館活動を拡張していきたいと考えていたところ、その年の5月24日、鶴ヶ島市および鶴ヶ島市立図書館から大学と市の協定締結の打診がありました。大学と市の協定については大学本部に委ね、図書館同士の協定について積極的に対応することにしました。互いの図書館訪問や協議を繰り返し、2か月後の7月20日に相互協力協定を締結することになりました。これに続き、隣接する毛呂山町、坂戸市、日高市、越生町、飯能市とも意見交換を重ねて、現在では鶴ヶ島市を含めたこれら6市町との提携が成立しています。

さらに本学は、2013年6月4日に「地（知）の拠点としての大学と地域との連携共同宣言」を掲げ、キャンパスに沿って流れる高麗川流域の地域行政（鶴ヶ島市、毛呂山町、坂戸市、日高市、越生町）と地域の課題解決のために連携協力を始めました。重点的な取り組みテーマ（1. 休耕地の活用 2. 共生社会づくり 3. 地域インフラの効果的活用 4. 地域教育力の向上 5. 健康長寿の推進 6. 環境の保全と創造）を中心として、活力ある安心・安全な地域コミュニティの実現に貢献することを宣言しています。

誇るべきことに本学における地域連携の歴史は、図書館から始まったのです。

地域相互協力図書館連携事業の概要

2017年度の活動について次の表をご覧ください。毎年開催している合同主催公開講座と合同研修会の会場や講師は、テーマによって担当を分担して

います。

鶴ヶ島市立図書館は、年に一度、図書館まつりを開催しています。講演、ビブリオバトル、本のリサイクル市、おはなし会など世代を超えて楽しめる催しを図書館職員や地域ボランティアが企画しています。本学薬学部の学生が作成した「みんなで栄養かるた」や「みんなでお薬かるた」を使ったカルタ大会は、名物企画の一つです。2010年からは、本学所蔵の貴重書展示、大学公式グッズの販売（前述かるた含む）という形で参加しています。展示ブースは貴重書の解説だけではなく、本学の有する学部での活動や図書館の利用開放をアピールするなど来場者との交流の場となっています。

2017年度地域相互協力図書館連携事業

7月	館長および主務者の集い 日高市立図書館主催 「2017夏の陣 図書館ビブリオバトル」 坂戸市立図書館協議会、鶴ヶ島市立図書館協議会
9月	鶴ヶ島市立図書館主催「第30回図書館まつり」 「ビブリオバトル IN 鶴ヶ島市立中央図書館」
10月	坂戸市立図書館協議会
11月	坂戸市立図書館主催 「第3回ビブリオバトル坂戸市立図書館」
12月	地域相互協力図書館合同主催公開講座 日高市立図書館主催 「2017冬の陣 図書館ビブリオバトル」
1月	坂戸市立図書館協議会
2月	鶴ヶ島市立図書館協議会
3月	坂戸市立図書館協議会 地域相互協力図書館合同研修会

館長および主務者の集い

この集いでは、前年度の連携事業報告と当該年度の年間計画を検討します。毎年本学を会場に開催していますが、公共図書館同士が現場の問題をタイムリーに共有できる貴重な場となっています。本学からは大学生の図書館利用の傾向や、連携地域住民の来館者数など本学図書館の利用状況を報告します。事前に公開講座と研修会のテーマについてアンケートを採り、欠席館の意見も反映できるように配慮しています。

今年は7月3日に開催され、公共図書館から「利用者の多くは、食や健康・郷土史に興味を持っている」「利用者同士のトラブルについて対策して

いることがあれば伺いたい」というさまざまな意見が挙がりました。これを受けて公開講座は「特定保健用食品・栄養機能食品・機能性食品の違いや特徴（効能）」を中心テーマとし「健康食品との正しいつきあいかた」というタイトルになりました。本年10月27日に坂戸市立中央図書館を会場として本学薬学部医療栄養学科の教員が講師となって開催します。研修会の詳細はこの原稿執筆時点では未定ですが、「危機管理とクレーム対策」をテーマに本学心理学系の教員か学生カウンセラーに講師を依頼することが企画されています。

合同主催公開講座

公開講座の参加者は中高年の割合が多く、健康や薬に関する情報の需要が高まっていると感じています。テーマの検討に際して、本学図書館長（薬学部教員）より、昨今の医療制度改革に関する話題が提供されました。「公共図書館の健康に関する資料の選書を薬剤師会がサポートし、利用者がより正しい情報に触れられるようにすること」、また「薬学系図書館は公共図書館に専門性のある情報を提供し、公共図書館は啓発活動の前線として地域住民に情報を還元すること」といった各種の役割が期待されていることが話されました。

これを受けて過去には、第4回「くすりにやさしく：知っておきたいくすりのかたちと正しい使い方」（2012年11月3日）や第9回「地域包括ケアシステムにおける薬剤師の役割」（2017年12月15日）を開催しました。どちらの回も本学薬学部の教員が講師を務め、各回約50名の参加者が来場して大変好評でした。



▲第9回「地域包括ケアシステムにおける薬剤師の役割」



▲第2回「破損本の修理・補修」

小規模な自治体では限られた財源の中で専門家を招くのは容易ではありませんが、本学が専門性の高い話題を地域へ無償提供することで参加者の知的好奇心を満たすことができ、同時に大学を身近に感じてもらえる絶好の機会でもあるのです。

合同研修会

研修会は、図書館スタッフ向けに日々の業務に関する悩みを解消することを目的に催されます。第2回に「破損本の修理・補修」(2012年2月28日)と題して本学図書館スタッフが講師となって実施したところ、好評であったため、翌年3月1日には実践編を開催しました。公共図書館でボランティア活動をしている方など参加者19名が破損本を持ち寄り、実習しながら修理方法を学びました。

第5回(2014年9月17日)では、公共図書館からの「ビブリオバトルを開催したいと考えている。大学ではどのように運営しているか参考にしたい」という要望に応じて、本学のビブリオバトルについて事例を紹介しました。研修会後には、公共図書館でのビブリオバトルの開催が実現し、現在ではそれらに本学の学生が出演して活躍しています。世代の異なる人々に混じってビブリオバトルに参加することは、大変刺激になり、学生たちの成長につながっています。研修会で習得したことが着々と実を結び始め、連携事業の確かな手応えを感じています。

今後の課題

図書館が館種を超えて連携することで、展示・



▲日高市立図書館主催「2017冬の陣 図書館ビブリオバトル」本学生がチャンプ本を獲得した

出展の効果、業務の情報共有、ビブリオバトルの広がりなど、自館だけではできなかった活動が実現可能になりましたが、いくつか課題もあります。行事日程の調整が難しくなかなか参加できない館や指定管理者制度による担当者交替のため、継続的にこの活動に関わることのできない館があります。その影響を受け、運営業務に偏りが出ているのが現状です。それでも互いの図書館利用者にとってより良いサービスを提供するためには、これらの活動は必須となってきています。そのため「館長および主務者の集い」の欠席館には、事前アンケートを回答してもらう以外にも当日の配付資料や議事録を送付するなど、良好な関係を継続できるように工夫しています。

公共図書館と大学図書館という館種を超えた交流…それは自館を運営していく上で非常に心強い関係です。20年30年先もこれまで築いてきた「顔の見える交流・声の聞こえる交流」が途切れぬよう、さらなる発展を目指していきます。

【参考】

- ・若生政江(2010)「城西大学図書館における館種を超えた地域連携」『未来を開く図書館ネットワーク：埼玉県図書館連携活動報告書』
- ・地域相互協力図書館連携事業の詳細については、城西大学水田記念図書館ウェブサイトをご参照ください。
<http://libopac.josai.ac.jp/guide/statistics.htm>
(おがわ かなこ：城西大学水田記念図書館)

[NDC10：011.3 BSH：1.図書館協力

2.城西大学水田記念図書館 3.図書館(公共)－埼玉県]